



「関節の痛み」



国保成東病院
整形外科
まつうら 龍 医師
松浦 龍 医師

関節が痛い！このような症状で数多くの患者さんが整形外科外来を受診されます。寒いこの時期は特に症状が強くなる時期でもあります。

人の身体には数多くの関節があります。疼痛の症状が多いのは日常生活、スポーツでよく使う肩、膝、肘だと思っています。

代表的な症状として

肩関節…「肩が上がらない」、「背中」に手が回らない」、「寝ていても痛みで目が覚める」
膝関節…「正座、あぐらができない」、「階段が怖い」、「杖がないと歩行できない」、「ひっかかる感じがする」、「水がたまる感じがする」

肘関節…「雑巾が絞れない」、「スポーツに差し支える」、「物が持てない」

などがあげられ、その原因としては次の表のような数多くの疾患が主に考えられます。

治療方法は疾患ごとに異なります。症状改善のためには整形外科を受診して正しい診断、治療を受けることが重要です。

診断は？

疼痛を起こした原因、経緯を聞き、実際に診察を行います。

そしてレントゲンで関節の状態、関節の変形の重症度を調べます。

必要に応じてCTも行い

ます。

また、関節には軟骨があり、その詳しい状態はレントゲンでわからない事も多く、MRIが非常に有用です。当院ではMRIによる詳細な診断を積極的に行っています。

このような検査をして正しい診断を行います。

治療は？

いきなり手術はしません！

まず各々の疾患に合った保存的治療（薬物、注射、リハビリテーション）、日常生活指導などを行います。

そして一定期間保存療法を行っても改善しない場合、手術療法を勧めています。現在は傷が小さく入院も短

期間で済む関節鏡手術の適応が広がっており、こちらを積極的にを行っています。また、関節鏡の適応とならない疾患もありますが、傷が大きくならないよう心がけて手術をしています。病態が重症化する前の早期診断、早期治療が非常に

大切です。

正しい治療を行うことで進行を防ぐこともできると考えます。

「関節が痛くてつらい」という方はどうぞ気軽に、「肩肘張らず」に外来へ御相談ください。

～代表的な疾患～

部位	治療方法	疾患			
肩関節	保存療法	肩関節周囲炎	腱板炎	石灰沈着性腱板炎	五十肩
	関節鏡手術	反復性脱臼	腱板損傷、断裂	インピンジメント症候群	
	通常の手術	人工関節置換術	人工骨頭置換術	上腕二頭筋腱断裂	
		(変形性関節症)	(上腕骨骨折)		
		反復性脱臼			
肘関節	保存療法	野球肘	テニス肘(外上顆炎)		
		(離断性骨軟骨炎)			
	関節鏡手術	野球肘	テニス肘	関節遊離体、滑膜炎	
	通常の手術	人工関節置換術	骨折		
		(変形性関節症)			
膝関節	保存療法	変形性関節症	半月板損傷	いわゆる成長痛	
	関節鏡手術	変形性関節症	半月板損傷	前十字靭帯損傷	離断性骨軟骨炎
	通常の手術	人工関節置換術	離断性骨軟骨炎		
		(変形性関節症)			